

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先…ngu-kyomu@naragakuen-u.jp(奈良学園大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
文字を手書きすることの意義と価値(書写)		小学校・中学校・高等学校教諭	6H	講義・演習
日程	定員	講師名(所属・職名等)		
平成29年8月8日(火)	30人	小竹 光夫(奈良学園大学・教授)		
会場				
奈良学園大学				
【講習の概要】				
<p>情報化が進むにつれ、「文字離れ」が社会問題のように取り上げられるが、「文字を書く」という立場での解決策は提示されることは少ない。本講習では、国語科書写が果たすべき役割と実践の在り方を理解すると共に、学習者のみならず指導者自身が文字言語への関心を高め、文字を手書きすることの重要性を再認識できるような学習展開を明らかにする。さらに、硬・毛筆の関連学習についても、一層の理解が深められるような講義・演習を行う。</p>				
【小テーマ①】 手書き文字文化の過去と現在			2. 7H (担当講師:小竹 光夫)	
講習形態	講義形式			
講習内容	「文字を手書きすること」に関する現状を通観し、課題を明らかにする。			
到達目標・確認指標	文字を手書きすることの意義と価値を理解し、身の回りの文字文化に興味関心を持つようになる。			
キーワード	文字の手書き 国語科書写 硬筆 毛筆 関連学習 文字文化			
【小テーマ②】 文字を手書きすることを踏まえた未来への展望			1. 5H (担当講師:小竹 光夫)	
講習形態	講義形式			
講習内容	「文字を手書きすることの意義と価値」についてまとめ、具体的な対応策と実践の在り方について明らかにする。			
到達目標・確認指標	「文字を手書きすることの意義と価値」について理解し、対応と実践の在り方についての具体策について考えるようになる。			
キーワード	文字の手書き 国語科書写 硬筆 毛筆 関連学習 文字文化			
【小テーマ③】 書き確かめる中での文字文化の理解			1. 8H (担当講師:小竹 光夫)	
講習形態	演習形式・講義形式			
講習内容	硬・毛筆による楷書・行書の実習を通じ、「文字を手書きすること」を体験的に理解する。			
到達目標・確認指標	漢字の楷書と行書、ならびに仮名の書写技法を習得する。			
キーワード	文字の手書き 国語科書写 硬筆 毛筆 関連学習 文字文化			
試験方法	筆記による履修認定試験(100点満点)を行う。			
成績評価の方法・基準等	履修認定試験(100点満点)の60点以上を合格と認定し、59点以下を不合格として不認定とする。			
備考	毛筆書写用具一式・鉛筆(B、または2B)を準備すること。教科書・教材・参考資料については、担当者の方で準備するので、特に必要はない。ただし、小・中学校の学習指導について触れる場合があるので、必要に応じて学習指導要領の内容が必要となる。			